

科目分類	看護専門科目（救急・災害看護学）	開講時期	1・2年 前期
研究キーワード	鑑別診断・説明法・コーピング		
科目名	救急治療学特論		
英文	Advanced Study in Emergency Medicine for Nursing		
選択／必修	選択	単位数（時間数）	2単位 30時間
			授業形態 講義
担当教員	杉浦 良啓		
メールアドレス	y-sugiura@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	事前にメール連絡してください。

授業目的	救急医療は急病、事故、災害などで緊急の医療処置や治療を必要とする人々に対して患者の年齢、性別、疾患の内容、外傷の種類、重症度を問わずに行われる。救急治療学はその基本となるものである。救急疾患の多面性を理解し、実際の場面で発揮できる救急看護を学び、同時に学術発展に寄与する研究能力を修得する。
授業概要	症候学的思考を土台とする。その上にトリアージと的確な救急看護展開のための複眼視点をを用いるアプローチを学習する。また、救急医療では診断に先行して緊急処置が必要なことが多い。具体的手技や医薬品の理論と実際も学習する。さらに、救急現場のトリアージに際して、マネジメントとストレスへの考慮が重要事項であることを理解する。これらの学習法は講義と演習・討論を主とする。
授業計画	第1・2回 症候アプローチ（頭痛、めまい、意識障害、痙攣、動悸、呼吸困難、嘔吐・腹痛・下痢、吐血・下血、麻痺、疼痛、体温異常） 第3・4回 解剖アプローチ（頭・頸部、胸部（呼吸器、循環器）、腹部、四肢） 第5・6回 機能アプローチ（器管の機能不全） 第7・8回 病因・病理アプローチ（物理、感染、化学、環境） 第9・10回 救急処置、心肺蘇生と低体温療法 第11回 緊急医薬品の種類と取扱い方 第12回 体液管理（輸液・輸血・代用血漿） 第13回 診断機器類の扱い方と結果の見方 第14回 緊急検査・処置時のマネジメント（インフォームド・コンセント） 第15回 ストレスとコーピング
教材 参考文献等	教科書：Pathophysiology for Nurses at a Glance Muralitharan Nair Ian Peate 救急医学・看護関連テキスト。随時、参考文献や資料は配布又は指定する。

成績評価 基準・方法	試験 (60%)、レポート (40%)
履修要件	なし
関連科目	なし
留意事項 その他	なし